

(別紙)

耐震計算の誤入力に係る再発防止対策の実施状況

2023年10月
日本原燃株式会社

1. はじめに

2007年8月21日、当社社長は、青森県知事に再処理施設における耐震計算の誤入力に係る報告を行い、2007年8月31日、青森県知事から以下の4項目について要請を受けた。

- (1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施
- (2) 風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底
- (3) 耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施
- (4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

これら4項目について、2023年7月から2023年9月までの実施状況を以下に報告する。

2. 実施状況

(1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施

- ・ 計算機による設計解析を行う安全性評価業務が新たに発生した場合に、耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査を実施することとしている。
- ・ 7月から9月までの間において当該業務は発生していない。

(2) 風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底

① 風通しのよい職場風土の醸成に関する活動について

- ・ 2023年3月に全社員を対象として実施した「労働時間に関する実態調査」の結果を、現在分析中である。

調査結果の分析を受けて、職場風土に関わる新たな課題が明らかになった場合は、対策を検討し、実施する。

- ・ 2022年6月から、再処理事業部の部長同士の相互理解を深めるため、ストレングスファインダー(人の強みを分析するツール)を利用した取組みとして部長間の対話活動を実施している。

また、新たに部長として配属になった者に対しても適宜ストレングスファインダーを実施し、その結果を基に対話活動を行うこととしている。

② コンプライアンスの徹底に関する活動について

- ・ 第20回コンプライアンス推進委員会(4月24日開催)で審議した「2023年度コンプライアンス推進活動計画」に基づき、従業員の意識・知識の向上等に向けた活動に取り組んでいる。
- ・ 7月から9月は、経営層および全社員を対象としたコンプライアンスに係るeラーニング教育、新任管理職、新任チームリーダー、新任主任を対象とした階層別のコンプライアンス研修、新入社員を対象としたコンプライアンス研修、法令手続き漏れ防止を図る連絡会、

メールマガジンの発行を行った。

③ 全社安全大会

- ・ 2023年7月5日に「2023年度全社安全大会」を開催した。
本大会では、むつ労働基準監督署 署長による労働安全訓示、大会決議、参加者全員による品質方針および労働安全衛生方針の唱和を行い、安全意識の高揚を図った。（協力会社社員を含め約630人が参加）

④ 品質保証マネジメント会議

- ・ 2023年8月1日に「第28回品質保証マネジメント会議」を開催し、「労働災害の根絶」および「再処理工場における雑固体廃棄物の低減」をテーマに議論を行った。（協力会社71社が参加）

⑤ 協力会社への個別訪問

- ・ 協力会社との双方向コミュニケーション活動の一環として、2023年度の個別訪問を2023年9月4日から約2ヶ月間の予定で開始した。（68社が対象）

⑥ 安全文化講演会

- ・ 2023年9月13日に管理職を対象として、「安全文化を支えるコミュニケーション」を演題とした安全文化講演会を開催した。

(3) 耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施

- ・ 耐震計算誤入力については、新聞広告や当社広報誌、地域会議等を通してお知らせしている。（2007年10月29日に報告済）
- ・ 当社事業全般に関して様々な広聴活動を継続するとともに、頂いたご意見を踏まえて、わかりやすい広報活動に取り組んでいる。

(4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

- ・ 2007年12月27日に日本原子力技術協会（現 原子力安全推進協会）より受領した「協力会社との連携に関する特定評価」における改善要望に対する当社の取組み状況の確認結果について、2009年2月3日に日本原子力技術協会より報告を受けた。（2009年4月16日に報告済）
- ・ 今後、改善要望に対する取組み状況として以下の①～④の項目について然るべき時期に改めて確認を受けることとなっている。
 - ① 「協力会社に発注した業務の管理」
 - ② 「協力会社とのコミュニケーション改善」
 - ③ 「言い出せる文化・職場風土の醸成」
 - ④ 「コンプライアンス（企業倫理遵守）の取組み」
- ・ 上記の①の項目については、「業務に精通した主管部署や品質保証部の監査への積極的な参加」や「工事を伴わない解析業務の一貫し

た管理のルール化」等、確実な設計管理を行うための仕組みを構築し、運用している。

- 上記の②、③、④の項目については、前述の「2.(2) 風通しのよい職場風土の醸成及びコンプライアンスの徹底」において取り組んでいる。

以 上